

貸借対照表

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,854,988	25,086,818	△ 14,231,830
未収金	42,307,492	48,087,433	△ 5,779,941
貸倒引当金	△ 274,152	△ 317,377	43,225
	42,033,340	47,770,056	△ 5,736,716
未収消費税等	67,225	0	67,225
前払金	94,000	275,200	△ 181,200
流動資産合計	53,049,553	73,132,074	△ 20,082,521
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,427,969	7,736,300	△ 2,308,331
財政運営資金積立資産	57,703,000	57,703,000	0
特定資産合計	63,130,969	65,439,300	△ 2,308,331
(3) その他の固定資産			
電話加入権	225,900	225,900	0
リース資産	2,177,453	2,766,213	△ 588,760
その他の固定資産合計	2,403,353	2,992,113	△ 588,760
固定資産合計	65,534,322	68,431,413	△ 2,897,091
資産合計	118,583,875	141,563,487	△ 22,979,612
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	34,691,139	43,645,109	△ 8,953,970
前受金	148,529	206,104	△ 57,575
預り金	865,940	1,060,224	△ 194,284
1年以内返済予定リース債務	589,887	583,959	5,928
流動負債合計	36,295,495	45,495,396	△ 9,199,901
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,427,969	7,736,300	△ 2,308,331
リース債務	1,602,136	2,192,023	△ 589,887
固定負債合計	7,030,105	9,928,323	△ 2,898,218
負債合計	43,325,600	55,423,719	△ 12,098,119
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	75,258,275	86,139,768	△ 10,881,493
(うち特定資産への充当額)	(57,703,000)	(57,703,000)	(0)
正味財産合計	75,258,275	86,139,768	△ 10,881,493
負債及び正味財産合計	118,583,875	141,563,487	△ 22,979,612

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,110	2,101	9
特定資産受取利息	2,110	2,101	9
受取会費	2,626,000	2,598,000	28,000
正会員受取会費	2,620,000	2,594,000	26,000
特別会員受取会費	6,000	4,000	2,000
事業収益	464,658,024	485,507,179	△ 20,849,155
受取配分金	415,682,381	432,470,342	△ 16,787,961
受取材料費等	13,126,887	13,022,114	104,773
受取事務費	35,848,756	40,014,723	△ 4,165,967
労働者派遣事業等受託収益	2,609,138	0	2,609,138
労働者派遣事業等受託収益	2,609,138	0	2,609,138
受取補助金等	73,425,600	74,663,049	△ 1,237,449
受取連合交付金	7,036,000	7,236,000	△ 200,000
受取区補助金	66,389,600	64,622,970	1,766,630
受取福祉・家事援助コーディネーター設置金	0	2,804,079	△ 2,804,079
雑収益	242,140	276,252	△ 34,112
受取利息	510	535	△ 25
雑収益	241,630	275,717	△ 34,087
経常収益計	543,563,012	563,046,581	△ 19,483,569
(2) 経常費用			
事業費			
支払配分金	415,682,381	432,470,342	△ 16,787,961
支払材料費等	11,865,566	11,318,008	547,558
職員基本給	25,613,520	25,086,720	526,800
職員諸手当	7,369,024	7,258,288	110,736
職員特別手当	9,830,061	9,430,335	399,726
臨時雇賃金	11,865,450	10,828,548	1,036,902
法定福利費	8,607,130	8,194,252	412,878
退職給付費用	1,881,600	1,977,198	△ 95,598
福利厚生費	494,193	463,739	30,454
会議費	7,316	23,806	△ 16,490
旅費交通費	1,451,114	1,329,769	121,345
通信運搬費	2,201,112	1,653,296	547,816
減価償却費	471,008	162,432	308,576
消耗品費	9,167,551	4,409,319	4,758,232
印刷製本費	2,271,346	1,506,922	764,424

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
燃料費	220,964	211,853	9,111
賃借料	4,784,553	5,498,018	△ 713,465
保険料	4,020,490	4,046,470	△ 25,980
諸謝金	5,568	0	5,568
租税公課	209,800	786,800	△ 577,000
支払負担金	1,000	2,260	△ 1,260
組織活動助成費	6,807,517	5,967,000	840,517
委託費	5,377,948	4,785,532	592,416
支払手数料	1,575,720	1,541,592	34,128
貸倒損失	231,477	0	231,477
支払利息	20,131	7,815	12,316
雑費	18,053	84,855	△ 66,802
事業費計	532,051,593	539,045,169	△ 6,993,576
管理費			
職員基本給	6,403,380	6,271,680	131,700
職員諸手当	1,842,257	1,814,572	27,685
職員特別手当	2,457,516	2,357,584	99,932
法定福利費	1,924,977	1,865,174	59,803
退職給付費用	470,400	494,300	△ 23,900
福利厚生費	81,346	87,225	△ 5,879
会議費	260,927	308,217	△ 47,290
旅費交通費	1,073,482	948,943	124,539
通信運搬費	1,959,987	1,709,130	250,857
減価償却費	117,752	40,608	77,144
消耗品費	2,680,746	2,234,984	445,762
修繕費	323,400	0	323,400
印刷製本費	933,776	785,728	148,048
賃借料	394,260	345,152	49,108
保険料	67,440	68,360	△ 920
租税公課	5,715	3,179	2,536
支払負担金	169,540	231,993	△ 62,453
委託費	942,630	489,888	452,742
支払手数料	2,390,058	1,656,898	733,160
支払利息	5,030	1,954	3,076
雑費	196,624	160,200	36,424
管理費計	24,701,243	21,875,769	2,825,474
経常費用計	556,752,836	560,920,938	△ 4,168,102
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,189,824	2,125,643	△ 15,315,467
当期経常増減額	△ 13,189,824	2,125,643	△ 15,315,467

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
退職給付戻入	2,308,331	0	2,308,331
退職給付引当金戻入	2,308,331	0	2,308,331
経常外収益計	2,308,331	0	2,308,331
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,308,331	0	2,308,331
当期一般正味財産増減額	△ 10,881,493	2,125,643	△ 13,007,136
一般正味財産期首残高	86,139,768	84,014,125	2,125,643
一般正味財産期末残高	75,258,275	86,139,768	△ 10,881,493
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	75,258,275	86,139,768	△ 10,881,493

正味財産増減計算書内訳表

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	2,110	2,110
特定資産受取利息	0	2,110	2,110
受取会費	1,313,000	1,313,000	2,626,000
正会員受取会費	1,310,000	1,310,000	2,620,000
特別会員受取会費	3,000	3,000	6,000
事業収益	455,012,387	9,645,637	464,658,024
受取配分金	415,682,381	0	415,682,381
受取材料費等	13,126,887	0	13,126,887
受取事務費	26,203,119	9,645,637	35,848,756
労働者派遣事業等受託収益	2,609,138	0	2,609,138
労働者派遣事業等受託収益	2,609,138	0	2,609,138
受取補助金等	60,147,280	13,278,320	73,425,600
受取連合交付金	7,036,000	0	7,036,000
受取区補助金	53,111,280	13,278,320	66,389,600
受取福祉・家事援助コーディネーター設置金	0	0	0
雑収益	241,630	510	242,140
受取利息	0	510	510
雑収益	241,630	0	241,630
経常収益計	519,323,435	24,239,577	543,563,012
(2) 経常費用			
事業費			
支払配分金	415,682,381		415,682,381
支払材料費等	11,865,566		11,865,566
職員基本給	25,613,520		25,613,520
職員諸手当	7,369,024		7,369,024
職員特別手当	9,830,061		9,830,061
臨時雇賃金	11,865,450		11,865,450
法定福利費	8,607,130		8,607,130
退職給付費用	1,881,600		1,881,600
福利厚生費	494,193		494,193
会議費	7,316		7,316
旅費交通費	1,451,114		1,451,114
通信運搬費	2,201,112		2,201,112
減価償却費	471,008		471,008
消耗品費	9,167,551		9,167,551
印刷製本費	2,271,346		2,271,346

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
燃料費	220,964		220,964
賃借料	4,784,553		4,784,553
保険料	4,020,490		4,020,490
諸謝金	5,568		5,568
租税公課	209,800		209,800
支払負担金	1,000		1,000
組織活動助成費	6,807,517		6,807,517
委託費	5,377,948		5,377,948
支払手数料	1,575,720		1,575,720
貸倒損失	231,477		231,477
支払利息	20,131		20,131
雑費	18,053		18,053
事業費計	532,051,593		532,051,593
管理費			
職員基本給		6,403,380	6,403,380
職員諸手当		1,842,257	1,842,257
職員特別手当		2,457,516	2,457,516
法定福利費		1,924,977	1,924,977
退職給付費用		470,400	470,400
福利厚生費		81,346	81,346
会議費		260,927	260,927
旅費交通費		1,073,482	1,073,482
通信運搬費		1,959,987	1,959,987
減価償却費		117,752	117,752
消耗品費		2,680,746	2,680,746
修繕費		323,400	323,400
印刷製本費		933,776	933,776
賃借料		394,260	394,260
保険料		67,440	67,440
租税公課		5,715	5,715
支払負担金		169,540	169,540
委託費		942,630	942,630
支払手数料		2,390,058	2,390,058
支払利息		5,030	5,030
雑費		196,624	196,624
管理費計		24,701,243	24,701,243
経常費用計	532,051,593	24,701,243	556,752,836
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,728,158	△ 461,666	△ 13,189,824
当期経常増減額	△ 12,728,158	△ 461,666	△ 13,189,824

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付戻入	1,846,665	461,666	2,308,331
退職給付引当金戻入	1,846,665	461,666	2,308,331
経常外収益計	1,846,665	461,666	2,308,331
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	1,846,665	461,666	2,308,331
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△10,881,493	0	△10,881,493
当期一般正味財産増減額	△10,881,493	0	△10,881,493
一般正味財産期首残高	86,139,768	0	86,139,768
一般正味財産期末残高	75,258,275	0	75,258,275
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	75,258,275	0	75,258,275

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

公益法人会計基準（内閣府公益認定等委員会 平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日改正）を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

リース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金…未収金の貸倒損失に備えるため、期末一般債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額のうち、中小企業退職金共済掛金を控除した金額を計上している。

なお、退職給付債務は職員退職金支給規程の期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(4) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他の固定資産…事務所におけるパソコン・プリンターである。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	7,736,300	0	2,308,331	5,427,969
財政運営資金積立資産	57,703,000	0	0	57,703,000
合 計	65,439,300	0	2,308,331	63,130,969

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	5,427,969	(0)	(0)	(5,427,969)
財政運営資金積立資産	57,703,000	(0)	(57,703,000)	(0)
合 計	63,130,969	(0)	(57,703,000)	(5,427,969)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
リース資産	2,969,253	791,800	2,177,453
合 計	2,969,253	791,800	2,177,453

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金等						
連合交付金 (高齢者就業機会確保 事業費等補助金)	(公財)東京しごと財団	0	7,036,000	7,036,000	0	—
区補助金	渋谷区	0	66,389,600	66,389,600	0	—
合 計		0	73,425,600	73,425,600	0	

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務 5,427,969 円

② 退職給付引当金 5,427,969 円

(3) 退職給付費用に関する事項

① 退職給付引当金繰入額 0 円

② 中小企業退職金共済掛金 2,352,000 円

③ 退職給付費用 2,352,000 円

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載してあるとおりである。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,736,300	0	0	2,308,331	5,427,969
貸倒引当金	317,377	274,152	0	317,377	274,152

※退職給付引当金の当期減少額（その他）は、職員退職金支給規程の変更による不要額相当分の取崩し額である。

貸倒引当金の当期減少額（その他）は、一般債権の引当金計上基準による金額の洗い替えによる取崩し額である。

財産目録

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金	手元保管現金	運転資金として	320,925		
		普通預金				
		三井住友銀行幡ヶ谷支店	同上	5,438,277		
		みずほ銀行渋谷支店	同上	1,044,326		
		三菱UFJ銀行笹塚支店	同上	1,560,044		
		振替口座				
		ゆうちょ銀行代々木支店	同上	2,491,416		
	未収金		受取配分金の未収額	42,307,492		
貸倒引当金		期末未収金に対する引当金	△ 274,152			
未収消費税等		シルバー事業に関する消費税の還付額	67,225			
前払金		休日夜間等緊急対応業務委託料等前払金2件	94,000			
流動資産合計				53,049,553		
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	普通預金	退職金の支払に備えて積立 てている資産である	5,427,969		
		三井住友銀行幡ヶ谷支店				
	財政運営積立資産	定期預金	全額が管理業務用財産であり、 財政運営の健全性を維持する ために保有する資産である	10,325,000		
		三菱UFJ銀行笹塚支店				
		定期預金			同上	10,000,000
		三井住友銀行幡ヶ谷支店				
		普通預金			同上	26,378,000
		みずほ銀行渋谷支店				
		普通預金			同上	5,000,000
	三菱UFJ銀行笹塚支店					
普通預金	同上	1,000,000				
三井住友銀行幡ヶ谷支店						
振替口座	同上	5,000,000				
ゆうちょ銀行代々木支店						
その他 固定資産	電話加入権	N T T	公益目的事業、法人運営 事業の用に供している	225,900		
	リース資産	リコーリース(株)	公益目的事業、法人運営事 業のために使用するパソコン 12台・プリンター2台	2,177,453		
固定資産合計				65,534,322		
資産合計				118,583,875		

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金		会員への支払配分金の未払額	28,657,328
			区補助金等返還金	543,400
			業者等支払 37 件	4,181,324
			賃金・社会保険料等の未払額	1,309,087
	前受金 預り金		受取配分金等の前受金	148,529
			源泉所得税の預り金	376,555
			社会保険料等の預り金	104,585
			住民税の預り金	332,800
1年以内返済予定 リース債務		令和2年度 入会予定者会費預り金	52,000	
		公益目的事業、法人運営事業のために使用するパソコン等のリース資産に対する負債 (令和2年度分)	589,887	
流動負債合計				36,295,495
(固定負債)	退職給付引当金		職員への退職金の支払いに備えて計上している引当金である	5,427,969
	リース債務		公益目的事業、法人運営事業のために使用するパソコン等のリース資産に対する負債	1,602,136
固定負債合計				7,030,105
負債合計				43,325,600
正味財産				75,258,275

公益社団法人渋谷区シルバー人材センター 平成31年度(令和元年度) 事業報告

あらまし

平成31年度(令和元年度)は、公益社団法人渋谷区シルバー人材センター(以下、「センター」という。)においては、「経営」という視点に立ち、継続的に組織を発展させるための指針として策定された「第1次中期計画」の3か年の初年度にあたり、新たな取り組みを着実に実施してきました。

以下、平成31年度(令和元年度)の主な事業の実施状況について報告します。

1 平成31年度(令和元年度)の目標値と実績

区 分	平成31年度(令和元年度)				平成30年度
	目標値	実績	目標値との比較	前年度との比較	実績
会 員 数	1,310人	1,236人	▲74人	▲7人	1,243人
契 約 金 額	500,000千円	489,166千円	▲10,834千円	3,659千円	485,507千円
年間就業率	80.0%	79.3%	▲0.7%	▲9.3%	88.6%

(1) 会員の状況

令和2年3月31日現在の会員数は1,236人となり、前年度末の会員数1,243人より7人の減少となりました。

平成31年度(令和元年度)末の会員目標人数は、1,310人としていましたが、目標値との比較では、74人下回りました。

前年末会員数	入会者数	退会者数	今年度末会員数
1,243人	135人	142人	1,236人

退会理由は、「病気」を理由とする会員が一番多く46人(32.4%)、次いで「家庭の事情」が18人(12.7%)、「転居」が17人(12.0%)、「加齢」が16人(11.3%)、亡くなられた会員が15人(10.6%)となっています。

退会理由	人 数	割 合	退会理由	人 数	割 合
死 亡	15人	10.6%	その他で就職	8人	5.6%
転 居	17人	12.0%	他団体へ加入	1人	0.7%
病 気	46人	32.4%	就業機会なし	4人	2.8%
加 齢	16人	11.3%	希望する仕事なし	1人	0.7%
家庭の事情	18人	12.7%	その他・未回答	4人	2.8%
会費未納	12人	8.4%	合 計	142人	

(2) 事業実績

請負事業と派遣事業の契約金額を合わせた平成31年度(令和元年度)のセンターの目標契約金額は、5億円となっています。

平成31年4月から令和2年2月までの11か月の合計契約金額については、対前年度同月11か月と比較し2.4%増、金額にして1,061万円余の増額で推移し、目標到達に迫っていました。

しかし、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症が発生し、発症者が拡大蔓延したことから休業措置が行われて契約金額が大きく落ち込み、令和2年3月の月間契約金額は、対前年度比16.9%の減、金額にして695万円余の減額となりました。

この結果、平成31年度(令和元年度)年間契約金額合計は、前年度の契約金額より365万円余の増額に留まり、前年度と同水準となっています。

契約金額	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	増減額	前年比
4月～2月	444,465,150円	455,076,728円	10,611,578円	102.4%
3月	41,042,029円	34,089,560円	△6,952,469円	83.1%
年度合計	485,507,179円	489,166,288円	3,659,109円	100.8%

(3) 会員の就業状況

平成31年度(令和元年度)に一度でも請負事業に就業したことがある会員数は980人、年度末会員数(1,236人)に対する就業率は79.3%となり、目標値とした80.0%にわずかに到達しない結果となりました。

男性会員	女性会員	合計
534人	446人	980人
81.5%	76.8%	79.3%

なお、派遣事業に就業した会員は、登録会員数47人、就業会員47人となっており、就業率は100%となっています。

男性会員	女性会員	合計
20人	27人	47人
100%	100%	100%

2 「事業活動の充実」実施状況

(1) 就業開拓体制の確立

第1次中期計画において、発注が来るのを待つという姿勢ではなく、就業先を新たに開拓するという能動的な経営体制に切り替えていくために、平成31年度(令和元年度)は就業開拓員を選任し、就業開拓を積極的に行う計画が定められました。就業開拓員の選任について、以下のとおり実施しました。

募集方法	会員の中から就業開拓員を募集
応募人数	11人(男性7人、女性4人)
就業開拓員	鎌田 康雄 会員(本町西地域班)、堀 明美 会員(上原地域班)
委嘱日	令和2年3月1日

(2) 派遣契約への移行

平成31年度(令和元年度)当初から、公共事業である「商工会館・消費者センター」、「YCC代々木八幡コミュニティセンター」、「社会教育館(幡ヶ谷、恵比寿、長谷戸、千駄ヶ谷、上原)」の7施設を、請負契約から派遣契約に移行し、適正就業を推進する取り組みを行いました。

(3) 独自事業の推進

① 粗大ごみ運び出し業務

平成21年度にスタートした粗大ごみ運び出し業務は、受注件数が減少傾向で推移しています。

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)
75件	77件	46件	28件	32件	26件

② 新たな独自事業の推進

平成30年度末に新たな独自事業として開始した「誰でも文章教室」、「包丁研ぎサービス」は、平成31年度(令和元年度)も引き続きその充実に努めました。

また、事業開拓委員会では、会員のスキルを活用した事業を開始するため、練馬区シルバー人材センターを訪問し講座事業の実情を聴取するとともに、全国のシルバー人材センターの先行事例を調査し、今後の独自事業創業の検討を行いました。

(4) 福祉・生活支援事業の推進

各家庭に密着した家事援助や子育て支援などの地域支援サービス業務や軽作業代行サービス業務は、地域福祉を支え、区民のちょっとした「お困りごと」を解決する役割を担っています。

センターでは、福祉・生活支援コーディネーター2人を配置し、初回就業時に同行するなど、就業する会員が安心して就業を始められるようフォロー体制の継続充実に努めました。

(5) 家事援助就業会員及び就業希望者向け講習

家事援助就業会員及び就業希望会員の家事援助技能の向上等ブラッシュアップを図ることを目的として、福祉・生活支援コーディネーターが企画する以下の講習会を実施しました。

	講習会名	実施日時	会場	参加会員
1	清掃ブラッシュアップ講習会	7月23日(火) 10:00～12:00	せせらぎ 調理実習室	9人
2	調理ブラッシュアップ講習会	9月5日(木) 10:00～12:30	せせらぎ 調理実習室	14人

(6) 軽作業代行サービス業務の実績

渋谷区からの委託事業である「軽作業代行サービス業務」は、平成19年度の受託開始以来、平成31年度(令和元年度)で13年目を迎えました。

地域の高齢者が日常生活を安心して、快適に過ごしていただくための手助けを行う福祉サービス事業として、地域の方々の中で定着し、着実に実績を重ねています。

()内は平成30年度件数

サービス名	件数	サービス名	件数
電球などの交換	26(26)	庭木の水遣り	49(34)
ベランダや窓の清掃	62(62)	植木の剪定	399(448)
病院への付き添い	11(25)	除草	353(322)
散歩や外出などの付き添い	6(13)	合計	906(930)

(7) 東京しごと財団が主催する研修への参加

研修の区分	参加会員	内 容
派遣研修	14人	包丁研ぎ研修、家事援助サービス研修、生活支援サービス研修、ハウスクリーニング研修、接遇研修、家事援助コーディネーター研修、認知症研修

(8) 旧笹塚敬老館「まちのリビングをみんなで作ろうプロジェクト」への参画

渋谷区福祉部から委託を受け一般社団法人渋谷未来デザインは、令和元年7月～9月末までの3か月間、旧笹塚敬老館利活用計画「まちのリビングをみんなで作ろうプロジェクト」を実施しました。

センターでは、この計画に合わせ、8月に「夏休みキッズ向けワークショップ」、9月に「あなたとわたしのまち SASAZUKA HAPPY 講座」を実施し、会員のスキルを活用した独自事業のあり方を試行しました。

① 「夏休みキッズ向けワークショップ」実施概要

施設を訪れる小学生や親子連れを対象に、ボランティア活動として地域の子どもたちへ贈る夏休みプレゼントとして、センター会員が、夏休みの宿題や自由研究に役立つプログラムを展開しました。

ワークショップ	対 象	実施日時	講 師
実験 「面白ペットボトル」	小学校 中高学年	8月19日(月) 10:00～11:30	芹澤 千秋 会員 山本まゆみ 会員
「あずま袋を作ろう」	小学校 高学年	8月20日(火) 15:00～16:00	大場 龍子 会員
「アクリルたわしを 編もう」	親子で参加 小学生だけの 参加も可能	8月21日(水) 15:00～16:00	鈴木 由紀 会員 大場 龍子 会員
「英語で遊ぼう」	幼児 (4歳以上)	8月23日(金) 8月30日(金) 10:00～11:00	藤井 通子 会員

ワークショップ	対 象	実施日時	講 師
お話し会 「江戸のまちの生活習慣」 (協力) 芝三光の江戸しぐさ振興会	小学校 高学年	8月26日(月) 14:00～15:00	栗山 実雄 会員
「ワイヤーで作る 壁掛け」作り	小学校 低中学年	8月27日(火) 15:00～16:00	鈴木 由紀 会員 大場 龍子 会員

② 「あなたとわたしのまち SASAZUKA HAPPY 講座」実施概要

9月の1か月間、旧笹塚敬老館周辺の方々を対象として、会員が講師を務めるカルチャー講座の試行を行いました。

講 座	実施日時	参加者	講 師
「超初心者のための 役立つ英会話」	全3回 月曜日 (9/9、9/16、9/23) 10:00～12:00	7人	藤井 通子 会員
「書道に親しむ会」	全3回 火曜日 (9/10、9/17、9/24) 10:00～12:00	4人	山崎 民子 会員
「スマホを楽しもう (超初心者向け)」	全3回 金曜日 (9/6、9/20、9/27) 10:00～12:00	10人	芹澤 千秋 会員

3 「就業機会の拡大」実施状況

(1) 就業基準委員会の設置

令和元年11月、「公益社団法人渋谷区シルバー人材センター就業の基準に関する要綱」に基づき、就業基準委員会を設置し活動を開始しました。

委員は、要綱第10条第3項に基づき、会長、副会長、常務理事、理事2人、会員2人の7人となっています。

(2) 職群別定期情報交換会の実施

平成31年度（令和元年度）から、同種の就業に従事している会員同士が情報交換を行い、課題を共有して改善を図るとともに、技能・知識の継承を行うため、以下の職群別情報交換会を開催しました。

業 務	開催日時	会 場	出席会員	
小学校休日管理業務	8月8日(木) 10:00～12:00	リフレッシュ氷川集会室	10人	23人
	8月9日(金) 10:00～12:00	せせらぎ 大会議室	13人	
児童安全管理業務	10月10日(木) 10:00～12:00	リフレッシュ氷川集会室	14人	30人
	10月11日(金) 10:00～12:00	せせらぎ調理実習室	16人	
自転車駐輪場業務	12月12日(木) 14:00～16:00	せせらぎ介護者教室	19人	30人
	12月13日(金) 14:00～16:00	せせらぎ介護者教室	11人	
公園・児童遊園地等 清掃業務	12月24日(火) 10:00～12:00	せせらぎ大会議室	37人	45人
	12月25日(水) 10:00～12:00	せせらぎ大会議室	8人	

(注) 児童安全管理業務、自転車駐輪場業務、及び公園・児童遊園地等清掃業務の情報交換会では、安全管理委員会委員による安全就業に関する啓発活動も併せて実施しました。

4 「安全就業推進」実施状況

平成31年度(令和元年度)、センターは、令和元年7月3日に交通功労団体として、代々木警察署長・代々木交通安全協会会長連名の感謝状をいただきました。

これは、安全就業の一環として、会員の皆さまが日頃から就業にあたり交通安全の取り組みを積極的に行っていることが評価されたものです。

センターの安全就業を推進するため、安全管理委員会では、会員の健康と安全に関する事項を検討し、「安全対策基本計画(平成28年7月15日全部改正)」に基づき、平成31年度(令和元年度)安全対策計画を定め、以下の取り組みを実施しました。

(1) 安全就業講習会の実施

平成30年度(前年度)、安全就業講習会は新入会員オリエンテーションと合わせて実施しましたが、平成31年度(令和元年度)は、新入会員オリエンテーションとは別にし、内容を充実して4回実施しました。

回	地域班	参加者	開催日時	会場	警察等の協力
第1回	西原 初台 笹塚	72人	10月18日(金) 13:30～ 15:30	総合ケアコミュニティ・せせらぎ	代々木警察署 日本交通安全教育普及協会 トヨタモビリティ東京(株) 渋谷代々木公園店
第2回	新橋 恵比寿 氷川	76人	10月31日(木) 13:30～ 15:30	リフレッシュ氷川	渋谷警察署
第3回	本町西 本町東 幡ヶ谷	71人	11月19日(火) 13:30～ 15:30	幡ヶ谷区民会館	代々木警察署 日本交通安全教育普及協会
第4回	上原 千駄ヶ谷 神宮前	35人	11月29日(金) 13:30～ 15:30	勤労福祉会館	渋谷警察署
参加者合計		254人			

(2) 事故検証と事故防止情報の共有

安全管理委員会では、平成31年度（令和元年度）に発生した12件の傷害事故について事故検証を行い、その結果を安全就業講習会や地域班総会、入会説明会等で情報共有し、事故発生防止の啓発活動を継続的に実施しました。

(3) 傷害事故発生状況（12件） 平成28年度5件、29年度5件、30年度8件

No.	性別	年齢	就業の内容	事故発生状況	障害の程度
1	女性	89	児童安全管理業務	階段で転倒	右額、肩、胸を強打 入院2日、通院2日
2	男性	71	経路途中 (帰宅途中) 【もらい事故】	駅で隣に座った男性が振り回したバックで、右頬を強打し気絶。2か月後に、病状判明	硬膜下血腫 入院2日、通院2日
3	女性	67	植木剪定業務	作業中、段差につまずき両膝をついて転倒	両膝打撲 通院2日
4	男性	67	施設管理業務	清掃中にバランスを崩し階段を踏み外す。	右足首捻挫 通院33日
5	男性	76	植木剪定業務	脚立に乗って作業中、足を滑らせ顔面強打	前歯2本欠損 通院7日
6	男性	86	襖・障子・網戸張替え業務	作業中、カッターが滑り左手親指を切る。	左手親指創傷 通院5日
7	女性	83	経路途中 (帰宅途中)	車道から歩道に踏み込んだ時、低くなった段差で転倒	右肩腕骨近位端骨折 入院27日
8	男性	78	マンション管理 清掃業務 【もらい事故】	就業先前の歩道で作業中、自転車に追突され転倒	右大殿筋裂傷 通院76日
9	女性	76	経路途中 (出勤途中)	雨でぬれていた就業先入り口で滑って転倒	左膝蓋骨骨折 通院8日
10	女性	71	経路途中 (帰宅途中)	暗い階段を降りているとき転倒	右脇腹打撲 通院2日
11	男性	76	植木剪定業務	作業中のこぎりで左手を切る。	左手薬指創傷 通院4日
12	女性	68	植木剪定業務	右手人差指にトゲが刺さる。	通院1日

(4) 賠償事故発生状況 (3件) 平成 28 年度 3 件、29 年度 2 件、30 年度 1 件

No.	性別	年齢	就業の内容	事故発生状況
1	女性	65	家事援助サービス業務	トイレ便座の右付け根部分を破損する。
2	女性	77	家事援助サービス業務	食器洗い中、カップの取手にヒビが入る。
3	女性	77	家事援助サービス業務	ケトルを落下させ、蓋が閉まらなくなる。

(5) 安全就業巡回指導の実施

No.	就業分野	巡回指導現場	巡回指導日時
1	児童安全管理業務	猿楽小学校	7月10日(水) 7:30~8:00
2	児童安全管理業務	千駄谷小学校	7月10日(水) 7:30~8:20
3	家具等リサイクル業務	本町リサイクルセンター	7月18日(木) 9:00~9:30
4	植木剪定業務	富ヶ谷5丁目発注者様宅	1月22日(水) 10:30~11:00
5	児童安全管理業務	渋谷本町学園	1月22日(水) 14:00~15:00
6	自転車駐輪場管理業務	北谷公園第1バイク駐輪場、北谷公園第2自転車駐輪場、渋谷区役所来庁者用駐輪場、NHK西門前自転車等駐輪場、富ヶ谷遊歩道バイク駐輪場	1月27日(月) 10:00~11:00
7	公園・児童遊園地等清掃業務	春の小川コミュニティパーク、代々木深町小公園	2月13日(木) 9:00~10:00

(6) 東京しごと財団安全就業パトロール指導員による安全就業指導

指導員	東京しごと財団安全就業パトロール指導員 永谷 秀司 氏
日時・内容	令和元年11月25日(月) 10:00~12:00 就業現場の巡回指導 ①公園清掃業務(区立神泉児童遊園地) ②家具再生・受付業務(美竹リユースコーナー) 13:00~15:30 安全に関する調査・相談(せせらぎ・調理実習室)

(7) 熱中症予防啓発活動・インフルエンザ予防啓発活動

① 熱中症予防啓発活動

● 熱中症予防啓発グッズの配布

配布品	◇ 「沖縄海洋深層水の鮮度塩使用 塩飴」 1袋 ◇ かゆみどめ「プチウナコーワ」 1個 ◇ 熱中症予防の啓発ガイド
-----	---

- 屋外就業会員に対する熱中症注意喚起の実施 8月1日郵送にて屋外就業会員 265人に注意喚起

② インフルエンザ予防啓発活動

● インフルエンザ予防啓発グッズの配布

配布品	◇ マスク「三次元マスク 7枚入り」 1袋 ◇ 手洗いジェル「手ピカジェルプラス 60ml」 1個 ◇ 渋谷区が実施する65歳以上の区民に対する無料インフルエンザ予防接種の案内
-----	--

(8) 安全標語の募集

東京しごと財団が主催し募集している令和2年度の安全就業標語については、全会員に周知し、安全管理委員会による選考を行い、テーマ毎に3点の作品の応募を行いました。

テーマ1：「就業中及び経路途中の交通事故防止」	応募作品数 32点
テーマ2：「転倒事故の防止」	応募作品数 34点

(9) 「ご安全に」の発行

年4回3か月毎に、安全就業に関する情報紙「ご安全に」を全会員に配布し、安全就業に関する意識啓発を行いました。(印刷部数：1400部)

(10) 安全保護具・作業用機械器具の更新

① 保護帽(ヘルメット)の更新

植木剪定業務会員の保護帽(ヘルメット)を一斉更新のうえ貸与するとともに、定期点検と消耗度に応じて適時交換の体制を整備しました。

更新した保護帽(ヘルメット)の有効期間は、令和2年4月1日～令和5年3月31日の3年間となっています。

② 安全带（墜落制止用器具）の更新

安全带（墜落制止用器具）に関する政令及び省令が改正され、令和4年1月2日から新構造規格に基づく安全带の使用が義務づけられていることから、植木剪定の高所作業基準に合致した新規格の胴ベルト型安全带を植木剪定業務会員に貸与するとともに、消耗度に応じて適時交換の体制を整備しました。

安全带（墜落制止用器具）の有効期間は、令和2年4月1日～令和5年3月31日の3年間となっています。

③ 三脚・脚立（作業用機械器具）の更新

安全就業の観点から、植木剪定等の高所作業で使用する三脚・脚立を更新し、安全性を高めました。

(1) センター保有自動車の安全運転の促進

会員が就業に使用しているセンター保有自動車の安全運行を向上させるため、令和2年1月17日、「公益社団法人渋谷区シルバー人材センター自動車使用要綱」を制定しました。

要綱に基づくセンター保有自動車運転許可会員	5人
-----------------------	----

(2) 東京しごと財団主催講座等への参加

	講座名	開催日時	会場	出席者
1	新任安全管理委員勉強会	7月 1日(月) 14:00～16:00	東京しごとセンター 4階403号室	安全管理委員 2人
2	シルバー人材センター安全リーダー研修	7月16日(火) 14:00～16:00	東京しごとセンター 5階セミナー室	安全管理委員 3人
3	転倒防止勉強会	8月28日(水) 14:00～16:00	東京しごとセンター 4階403教室	安全管理委員 2人
4	シルバー人材センター安全大会	9月20日(金) 13:30～16:30	東京しごとセンター 地下2階講堂	会長、理事 2人・ 事務局長、事務局 職員 1人
5	自転車安全利用講習会	11月28日(木) 13:30～16:00	東京しごとセンター 4階403教室	安全管理委員 2人

(13) 警察署交通安全行事への参加

	行事名	開催日時	会場	出席者
1	原宿シニア交通安全教室 (原宿警察署主催)	9月24日(火) 14:00～15:00	原宿警察署講堂	9人
2	シニア交通安全フェスティバル (渋谷警察署主催)	9月30日(月) 10:30～12:00	リフレッシュ氷川 1階集会室	5人

(14) 第4ブロック共同事業への参加

	講座名	開催日時	会場	出席者
1	第1回 交通安全講習	8月2日(金) 15:00～16:30	渋谷区シルバー人材センター	会員1人 職員4人
2	「事故の未然防止」 講習	9月18日(水) 13:30～15:30	世田谷区シルバー人材センター	会員2人 職員1人
3	第2回 交通安全講習	2月14日(金) 15:00～16:30	渋谷区シルバー人材センター	会員1人 職員4人
4	救急救命講習 (AED込み)	2月28日(金) 13:00～16:30	品川区シルバー人材センター	職員2人

5 「会員組織の拡充」実施状況

(1) センター事業の普及啓発活動

① 区内郵便局窓口を活用した会員募集

郵便局が年金受取り窓口として広く利用されている実態を踏まえ、区内郵便局窓口で使用されている現金用封筒、はがきホルダーにセンターの広告を掲載し継続的な広報活動に取り組みました。

② マグネットカードによる受注案内

継続して各家庭にセンターの受注案内が残るような取り組みとして、冷蔵庫等に貼り付けておけるマグネットカードを作成し、区内各世帯に配布する取り組みを行いました。

③ イベントへの参加

理事、監事、地域班班長が先頭に立ち、「しぶやの日清掃活動」「第20回せせらぎまつり」「くみんの広場」などに参加、出店し、センター事業のPRや受注相談に取り組みました。

④ 社会参加支援事業の実施

各地域班の社会貢献活動として、各地域班会員が中心となりコミュニティバス停留所を中心としたバスルートの清掃活動を展開しました。

(2) 相談窓口の充実

平成30年度に引き続き継続して、センターで仕事をしてみたいと考えている方々の疑問や質問にお答えし入会促進を図るため、事業開拓委員会委員による月2回（合計24回）の入会相談会を開催しました。

入会相談会は、センター事務局がある総合ケアコミュニティ・せせらぎで11回開催するとともに、地域交流センター恵比寿（4回）、リフレッシュ氷川（3回）、勤労福祉会館（3回）、千駄ヶ谷区民会館（2回）、地域交流センター神宮前（1回）の5か所を会場として、13回の出張相談会を実施しています。

また、事業開拓委員会では、令和2年度に向け会員募集を充実させるため、入会相談会のあり方、募集チラシの検討、会員募集ポスターの制作、会員による口コミ勧誘のあり方、ホームページによる会員募集のあり方等を検討しています。

(3) 入会説明会の充実

シルバー事業の理念やセンターの制度等の説明を行い、就業希望を聴取し、入会手続きを行うために実施される入会説明会を、令和元年7月から、月2回の開催に充実させました。

従来の総合ケアコミュニティ・せせらぎを会場とした入会説明会に加え、新たな会場として、高齢者の様々な活動を支援するため渋谷区が渋谷駅東口にあるヒカリエ8階に開設した「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ」を会場としています。

平成31年度(令和元年度)、総合ケアコミュニティ・せせらぎで12回、渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツで9回、合計21回の入会説明会を開催しました。

(4) 新入会員オリエンテーションの実施

新入会員の就業率を高め、退会を抑制することを目的として、平成30年4月1日以降入会した会員で、まだ新入会員オリエンテーションに参加していない会員を対象に、新入会員オリエンテーションを以下のとおり実施しました。

回	開催日時	会場	対象会員	出席会員
1	7月29日(月) 13:30~15:30	せせらぎ大会議室	154人	31人
2	11月22日(金) 13:30~15:30	せせらぎ大会議室	179人	29人

(5) ふりーとーくサロンの実施

総合ケアコミュニティ・せせらぎにあるセンター事務局は、渋谷区の北側に位置し、特に新橋地域班、恵比寿地域班、氷川地域班等の会員には、交通の便が悪いことから、企画総務委員会では、会員の就業報告書提出の利便を図るとともに、会員交流の場として、令和元年10月から、月1回の会員交流会「ふりーとーくサロン」の取り組みを開始しました。

回	開催月日	会場	参加会員	就業報告書提出
1	10月3日(木)	リフレッシュ氷川	9人	10件
2	11月1日(金)		9人	4件
3	12月2日(月)		6人	2件
4	1月6日(月)		9人	6件
5	2月3日(月)		9人	4件
6	3月2日(月)	新型コロナウイルス感染症対応のため中止		

(6) 地域連携講座の実施

地域貢献活動の一環とするとともに、会員募集を行うため、区民を対象として、福祉・生活支援コーディネーターが企画する地域連携講座を実施しました。

なお、年10回開催を予定していましたが、3月開催予定の講座は、新型コロナウイルス感染症を予防するため中止とし、年9回の開催結果となりました。

回	開催日時	テーマ	会場	参加者
1	6月18日(火) 13:00～15:00	【健康】 「発酵食品 めか床づくり」	リフレッシュ氷川	21人
2	7月17日(水) 10:00～12:00	【美容】 「おしゃれ講座」	シニア・いきいきコミュニティ・美竹の丘	9人
3	8月23日(金) 13:15～14:45	【体力向上】 「若返り☆ダイヤモンド体操に挑戦！」	YCC代々木八幡 コミュニティセンター	20人
4	9月26日(木) 9:00～12:30	【大人の社会科見学】 「裁判所の見学傍聴」	東京地方裁判所 他	21人
5	10月30日(水) 10:00～11:45	【体力向上】 「若返り☆ダイヤモンド体操に挑戦！」	YCC代々木八幡 コミュニティセンター	16人
6	11月29日(金) 午前の部 10:00～11:45 午後の部 13:30～15:15	【掃除】 「整理整頓術とお掃除の基礎」	リフレッシュ氷川 料理室	27人
7	12月20日(金) 午前の部 10:00～11:45 午後の部 13:30～15:15	【アレンジメント】 「お正月飾り」	総合ケアコミュニティ・ せせらぎ 調理実習室	33人
8	令和2年 1月20日(月) 11:30～13:30	【料理】 「五感でつくる男のフレンチ」	リフレッシュ氷川 料理室	12人
9	2月13日(木) 10:00～12:00	【編物】 「指で簡単帽子づくり」	総合ケアコミュニティ・ せせらぎ 調理実習室	19人
10	3月27日(金) 9:00～12:30	【健康】 「SHIBUYAウォーキング」	新型コロナウイルス感染症対応のため中止	

6 諸会議の開催概況

会議の名称	開催回数	会議の概要
定時総会	1回	令和元年5月31日(金) 渋谷区文化総合センター大和田さくらホールで開催 委任状を含め907人
三役委員長会議	11回	理事会、各委員会運営等の事前打ち合わせを行う。 会議構成員：会長、副会長、常務理事、企画総務・事業開拓委員会の両委員長、合計5人
理事会	15回	平成31年4月3日～令和2年3月18日まで15回開催 理事12人及び監事2人の出席
企画総務委員会	11回	4月～2月の毎月開催 (3月については、新型コロナウイルス感染症のため中止) 委員会構成員：理事4人、会員4人、合計8人
事業開拓委員会	12回	4月～3月の毎月開催 委員会構成員：理事4人、会員5人、合計9人
安全管理委員会	12回	4月～3月の毎月開催 委員会構成員：理事4人、監事1人、事務局長、職群別代表会員7人、合計13人
就業基準委員会	5回	令和元年11月設置、11月～3月の毎月開催 委員会構成員：会長、副会長、常務理事、理事2人、会員代表2人、合計7人
表彰委員会	1回	会長による諮問を受け、一般表彰等被表彰候補者を選考し、答申を行う。 委員会構成員：副会長、常務理事、企画総務・事業開拓委員会の正副委員長4人、合計6人
地域班長会議	16回	毎月の入会説明会に合わせ、総合ケアコミュニティせせらぎにて開催(12回) 四半期毎に渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツにて開催(4回) 会議構成員：12地域班の地域班長12人、会長、副会長、事務局長、合計15人

7 附属明細書

平成31年度(令和元年度)事業報告に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。